



【報道資料】

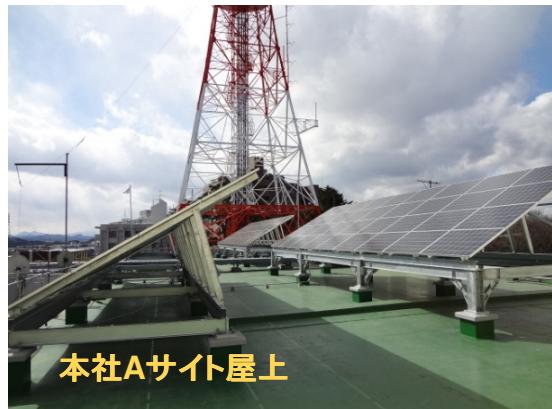
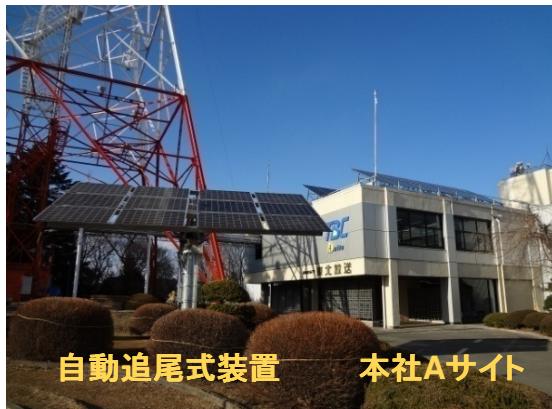
平成25年3月18日

## TBC東北放送本社太陽光発電装置 3月18日より運用開始 ～システム発電量49kW～

～発電データをTBC気象台と連携して、放送番組で情報提供～

東北放送株式会社は、開局60周年記念事業の一環として、本社屋上と本社構内（宮城県仙台市太白区八木山香澄町26番1号）に設置を進めていた太陽光発電装置がこの程完成し、平成25年3月18日（月）より運用を開始しました。

太陽光発電装置の導入は、東北の民間放送局として初めてとなり、運用開始により東北放送は日中の消費電力の一部を太陽光発電で賄うほか、節電やエコを推進していきます。



私たちは3.11東日本大震災を経験し、エネルギーの重要性を再認識しました。本装置を通じて、東北放送は宮城県民の皆様へ太陽光発電をはじめとする、再生可能エネルギー・節電・エコに関する啓発・普及活動をTBC気象台<sup>\*1</sup>を中心としてラジオ・テレビの放送番組を通じて、積極的に行っていきます。

今回導入した太陽光パネルは、本社Aサイト屋上(144枚)・Bサイト屋上(72枚)と屋外の自動追尾式装置(12枚)の合計228枚で、放送番組にも役立つように意匠面でも工夫しました。発電電力は、49kW、年間発電電力量は約52,000kWh程度となります。



発電した電力は、電力会社へ売電せず、全て自社で消費することになります。当面は本社放送施設棟の動力設備(3相200V エアコン・エレベーター等)に供給し、補助的に使用しますが、節電・エコ効果としては、蛍光灯に換算すると約1,200本分、削減されるCO<sub>2</sub>排出量は、年間28.3トンに相当します。

発電により得られたデータ(日射量、発電量)は、TBC気象台<sup>\*1</sup>との連携により、ラジオ・テレビ番組内で気象情報として、皆様に公開して参ります。

また、「電気の見える化」を同時に整備し、正面玄関に設置した60インチ液晶ディスプレイに表示を行います。今後は、このディスプレイで、デジタルサイネージとの連携により、「ラジオ・テレビ番組情報の見える化」などについても、実施する予定です。

来客者・見学者(小学校など)を含めた県民の皆様にラジオ・テレビを通じて、省エネ・エコの啓発・普及活動と玄関ロビーでの企業PR活動を実施して参ります。



\*1 TBC気象台とは、東北の放送局で初めてTBC東北放送が「天気予報業務許可事業者」に認可されたことに伴い平成14年4月1日に開設された気象台のこと。

### 【参考資料】

#### 1. システム構成

- ・太陽電池モジュール 京セラ(株)製 215W × 228枚 49.02kW
- ・パワーコンデショナ 新電元工業(株)製 10kW × 4台、5kW × 2台
- ・自動追尾式装置 (株)ジー・イー・エス製(宮城県利府郡利府町)

#### 2. 施工業者

戸田建設(株)、(株)TTK

### 【問い合わせ先】

982-0831 宮城県仙台市太白区八木山香澄町26番1号

東北放送株式会社 総務局総務部 (TEL 代表022-229-1111)